

H23年11月上旬の沿岸域の海況と漁況

鳥取県栽培漁業センター発行H23.11.17(担当:野々村)

11月上旬の漁況

- ・大型のサワラ(1, 2本入り)の漁獲量が先月より増加。
- ・シロイカは先月より減少したが、昨年同期よりも多い。
- ・アカイカは昨年同期よりも少ない。

各地の漁獲情報 (11/4~11/11まで)

出所: 漁協担当者への聞き取り調査による

漁法	魚介類	水揚場所	漁獲量 (1日あたり)	操業数 (1日あたり)	備考
刺網	ハマチ	御来屋	20箱前後	15~16隻	約1500円/箱
		赤碕	50~150箱	2~3隻	
		泊	20~300箱	3~5隻	
		酒津	80箱	1隻	11/6のみ
タイ類		御来屋	2~20箱	1~6隻	
		泊	10~50箱	2~3隻	
		酒津	20~90箱	3隻	
カマス		淀江	70~100箱	4隻	
ヒラマサ		御来屋	15箱前後	2隻	数日のみ
カワハギ		泊	10~20箱	2~3隻	
サワラ		酒津	20~45箱	1~2隻	2本入り主体
定置網	アジ類	御来屋	10~60箱	1組合	
	サワラ		70箱前後		約900円/kg
カゴ	カワハギ	酒津	10~60箱	2隻	
桁		泊	10箱	1隻	1日間のみ
一本釣	サワラ	淀江	100~150箱	30隻前後	1, 2本入
		御来屋	3~50箱	15~16隻	1, 2本入
		赤碕	30~70箱	10~40隻	1, 2本入
		泊	5~10箱	2~5隻	
シロイカ		赤碕	100~200箱	10隻	
		泊	40~150箱	6~7隻	
		酒津	10~100箱	4~5隻	
素潜り	サザエ	淀江	220kg前後	10名	
		御来屋	10~70kg	2~3名	
		アワビ	淀江	20~25kg	10名
		御来屋	3kg	2~3名	

12月にかけての漁業の様様

サワラとハマチの漁獲が本格的に始まる様様

※ただし、ハマチは価格が安ければ漁を控え、サワラを獲る

●11月上旬の沿岸域の海況 ※昨年同期のデータはありませんが水温はやや高め。
表面水温は先月から1~2℃降下。

クロロフィルa量は先月から沖側で0.3µg/L減少、岸側ではやや増加。

- ・表面水温は20.4~21.6℃、0~20 m層の平均水温は20.7~21.6℃。
- ・赤碕と長尾鼻の沖側の水深185 m (底層) の水温は3.0と3.3℃。

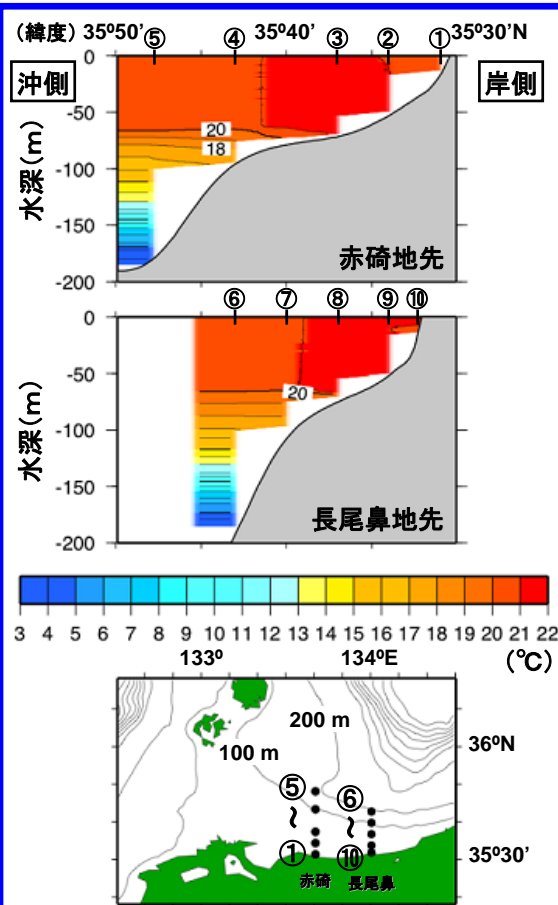


図1) 11月10~11日の赤碕と長尾鼻地先における水温の鉛直分布(上)と観測点(下)。

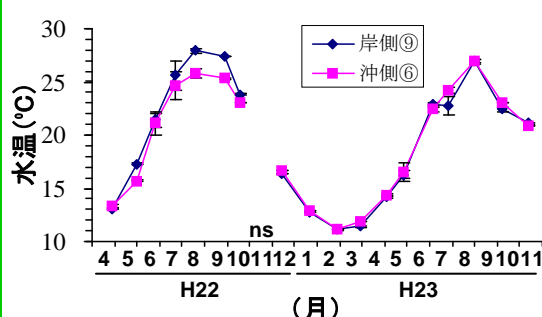


図2) 長尾鼻地先の表層の水温の平均値の季節変化. ns: 観測データ欠測。

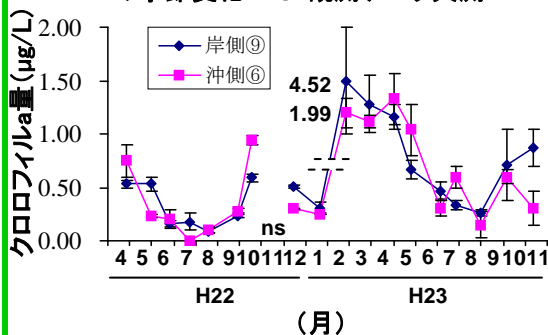


図3) 長尾鼻地先の表層のクロロフィルa量の平均値の変化. ns: 観測データ欠測。

- ・水温は昨年同期より1~2℃高い模様、そして、先月より1~2℃降下。
- ・クロロフィルa量は先月に比べ、沖側で減少したものの、岸側で増加。